

プラスチック光ファイバー取扱上の注意

三菱ケミカル株式会社

1. 用途に関する注意

- 1) 光ファイバーESKAは、人体内や食品に直接接触する用途には使用しないで下さい。
- 2) ハロゲンランプや集光された太陽光などの高照度の光源に接続する用途では、熱源カットフィルタや冷却装置などを使用して温度上昇を抑え、規定温度範囲内で使用してください。
- 3) 光ファイバーESKAの設置は、使用する国や地域の法規に従ってください。

2. 使用環境、保管環境に関する注意

光ファイバーESKAは可燃物です。品種ごとに、定められた温度及び湿度範囲内で使用、保管してください。

- 1) 光ファイバーESKAには火気を近づけないでください。
- 2) 光ファイバーESKAを塵埃、汚れの多い場所では使用しないで下さい。

光ファイバーの端面に塵埃、汚れが付着した場合は光学特性の低下を招くおそれがあります。また、非常に強い光が集光された場合に、塵埃、汚れの発熱により光ファイバー端面が変形したり、発火したりする恐れがあります。

- 3) 余った光ファイバーESKAは、梱包ケースに戻して保管してください。

3. 溶剤、薬品に関する注意

- 1) 光ファイバーESKAの洗浄には、水又は希釈した中性洗剤を使用してください。他種の洗剤を使用した場合は洗剤の成分がなくなるまで流水で洗い流してください。
- 2) 接着剤は、使用前に十分な適性試験を実施した後、選定してください。
- 3) 光ファイバーESKAの接着は、接着面の溶剤、油を十分に取り除いてから実施してください。溶剤、油が付着したまま接着すると、光学特性および機械特性を低下させるおそれがあります。

4. 廃棄に関する注意

光ファイバーESKAの廃棄は、フッ化水素ガスや塩化水素ガスを処理することができる焼却施設を有する専門の産業廃棄物処理業者に依頼してください。

自ら廃棄する場合は、その国や地域の法規に従ってください。

光ファイバーESKAを焼却すると腐食性で有毒なフッ化水素ガスが発生し、塩化ビニル被覆ケーブルを焼却すると腐食性で有毒な塩化水素ガスが発生するおそれがあります。

以上